

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 和歌山県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
海南市	海南医療センター	3
橋本市	橋本市民病院	4
有田市	市立病院	5
新宮市	新宮市立医療センター	6
高野町	高野山病院	7
すさみ町	国保すさみ病院	8
那智勝浦町	温泉病院	9
串本町	くしもと町立病院	10
国民健康保険野上厚生病院組合	国保野上厚生総合病院	11
公立那賀病院経営事務組合	公立那賀病院	12
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合	ひだか病院	13
公立紀南病院組合	紀南病院	14

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名					
病院名 こころの医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,637 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	52.1	57.8	61.4
感染症	-	-	-	-
計	300	52.1	57.8	61.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	922,584	
決算規模(千円)	626,675,534	
標準財政規模(千円)	298,707,463	
財政力指数	0.33779	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	204.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,252,863			
1 経常収益	2,242,463			
(1) 医業収益	1,287,763			
入院収益	1,039,904			
外来収益	154,962			
診療収入計	1,194,866			
その他医業収益	92,897			
(うち他会計負担金)	88,851			
(2) 医業外収益	954,700			
(うち国・都道府県補助金)	2,850			
(うち他会計補助・負担金)	586,492			
(うち長期前受金戻入)	14,658			
(うち資本費繰入収益)	344,497			
(3) 特別利益	10,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,030,444			
2 経常費用	2,020,044			
(1) 医業費用	1,957,541			
職員給与費	1,379,444	107.1	62.1	104.8
材料費	82,615	6.4	25.3	8.7
(うち薬品費)	62,362	4.8	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,455	1.4	11.4	1.3
減価償却費	168,487	13.1	9.5	13.5
経費	324,392	25.2	22.7	33.3
(うち委託料)	220,475	17.1	12.6	18.6
研究研修費	1,101			
資産減耗費	1,502			
(2) 医業外費用	62,503			
(うち支払利息)	57,801	4.5	1.3	2.7
(3) 特別損失	10,400			
損益				
経常損益	222,419			
純損益	222,419			
累積欠損金	659,665			
経常収支比率	111.0		101.9	101.4
医業収支比率	65.8		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	30.1		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	52.4		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	30.0		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	77.6		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,416,111
1 固定資産	3,127,548
(1) 有形固定資産	3,127,413
(2) 無形固定資産	135
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	288,563
(1) 現金及び預金	50,485
(2) 未収金及び未収収益	230,393
(3) 貸倒引当金( )	9,673
(4) 貯蔵品	17,358
3 繰延資産	-
負債合計	4,009,063
1 固定負債	3,179,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,175,272
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,109
2 流動負債	517,956
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	349,700
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	87,906
(6) リース債務	2,086
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	69,504
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	311,726
(1) 長期前受金	869,589
(2) 長期前受金収益化累計額( )	557,863
資本合計	-592,952
1 資本金	64,213
2 剰余金	-657,165
(1) 資本金剰余金	2,500
(2) 利益剰余金	-659,665
負債・資本合計	3,416,111
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	592,952
資本不足額(繰延収益控除後)( )	281,226
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.2
修正医業収益(千円)	1,198,912

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	649,606	675,343
資本勘定繰入	277,515	397,750
計	927,121	1,073,093

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	海南市				
病院名	海南医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,377 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	150	70.4	79.7	80.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	70.4	79.7	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.0	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	48,369	
決算規模(千円)	30,393,869	
標準財政規模(千円)	14,085,963	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	85.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.3
修正医業収益(千円)	2,989,268

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,957,758			
1 経常収益	3,957,758			
(1) 医業収益	3,190,709			
入院収益	1,926,360			
外来収益	905,168			
診療収入計	2,831,528			
その他医業収益	359,181			
(うち他会計負担金)	201,441			
(2) 医業外収益	767,049			
(うち国・都道府県補助金)	411,284			
(うち他会計補助・負担金)	268,693			
(うち長期前受金戻入)	42,451			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,736,926			
2 経常費用	3,736,926			
(1) 医業費用	3,544,209			
職員給与費	2,058,332	64.5	62.1	67.4
材料費	663,844	20.8	25.3	17.7
(うち薬品費)	397,911	12.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	265,933	8.3	11.4	8.8
減価償却費	231,442	7.3	9.5	10.7
経費	579,229	18.2	22.7	29.2
(うち委託料)	215,174	6.7	12.6	13.9
研究研修費	5,018			
資産減耗費	6,344			
(2) 医業外費用	192,717			
(うち支払利息)	30,902	1.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	220,832			
純損益	220,832			
累積欠損金	3,902,363			
経常収支比率	105.9		101.9	100.3
医業収支比率	90.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	93.3		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,892,570
1 固定資産	3,819,738
(1) 有形固定資産	3,667,119
(2) 無形固定資産	368
(3) 投資その他の資産	152,251
2 流動資産	1,072,832
(1) 現金及び預金	387,638
(2) 未収金及び未収収益	661,443
(3) 貸倒引当金( )	2,060
(4) 貯蔵品	25,381
3 繰延資産	-
負債合計	4,337,465
1 固定負債	2,716,519
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,115,553
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	216,668
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	384,298
(7) リース債務	-
2 流動負債	666,073
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	210,532
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	16,666
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,491
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	278,650
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	954,873
(1) 長期前受金	1,314,749
(2) 長期前受金収益化累計額( )	359,876
資本合計	555,105
1 資本金	4,438,642
2 剰余金	-3,883,537
(1) 資本金剰余金	18,826
(2) 利益剰余金	-3,902,363
負債・資本合計	4,892,570
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	470,134	470,134
資本勘定繰入	96,094	96,094
計	566,228	566,228

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	39,727	1.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	122.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	橋本市				
病院名	橋本市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,410 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨がへ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	80.6	81.7	86.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	80.6	81.7	86.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	15.2	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	60,818	
決算規模(千円)	33,723,103	
標準財政規模(千円)	16,483,523	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	100.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	86.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,907,830			
1 経常収益	7,735,534			
(1) 医業収益	6,400,774			
入院収益	4,554,455			
外来収益	1,554,512			
診療収入計	6,108,967			
その他医業収益	291,807			
(うち他会計負担金)	100,247			
(2) 医業外収益	1,334,760			
(うち国・都道府県補助金)	550,013			
(うち他会計補助・負担金)	313,976			
(うち長期前受金戻入)	260,250			
(うち資本費繰入収益)	81,127			
(3) 特別利益	172,296			
(うち他会計繰入金)	24			
総費用	7,553,727			
2 経常費用	7,422,625			
(1) 医業費用	6,928,485			
職員給与費	3,689,986	57.6	62.1	63.5
材料費	1,238,827	19.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	544,213	8.5	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	694,614	10.9	11.4	11.8
減価償却費	545,592	8.5	9.5	10.0
経費	1,440,701	22.5	22.7	21.7
(うち委託料)	704,545	11.0	12.6	12.2
研究研修費	8,770			
資産減耗費	4,609			
(2) 医業外費用	494,140			
(うち支払利息)	133,213	2.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	131,102			
損益				
経常損益	312,909			
純損益	354,103			
累積欠損金	3,375,124			
経常収支比率	104.2		101.9	101.7
医業収支比率	92.4		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	5.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	98.6		89.3	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,562,278
1 固定資産	6,639,041
(1) 有形固定資産	6,477,793
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	161,248
2 流動資産	1,923,237
(1) 現金及び預金	642,516
(2) 未収金及び未収収益	1,263,857
(3) 貸倒引当金( )	1,449
(4) 貯蔵品	18,273
3 繰延資産	-
負債合計	8,222,353
1 固定負債	6,972,505
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,456,248
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	513,757
(7) リース債務	2,500
2 流動負債	1,153,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	596,796
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	175,251
(6) リース債務	3,992
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	348,822
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	96,003
(1) 長期前受金	1,266,764
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,170,761
資本合計	339,925
1 資本金	3,077,516
2 剰余金	-2,737,591
(1) 資本金剰余金	637,033
(2) 利益剰余金	-3,374,624
負債・資本合計	8,562,278
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.9
修正医業収益(千円)	6,300,527

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	578,989	414,247
資本勘定繰入	408,541	381,838
計	987,530	796,085

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	52.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	有田市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,675 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救感災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	153	63.4	66.8	74.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	7.7	5.1	-
計	157	62.0	65.3	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.0	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	26,538	
決算規模(千円)	20,737,384	
標準財政規模(千円)	7,409,247	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	99.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.9
修正医業収益(千円)	2,115,471

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,454,462			
1 経常収益	3,391,862			
(1) 医業収益	2,217,472			
入院収益	1,439,706			
外来収益	593,577			
診療収入計	2,033,283			
その他医業収益	184,189			
(うち他会計負担金)	102,001			
(2) 医業外収益	1,174,390			
(うち国・都道府県補助金)	857,347			
(うち他会計補助・負担金)	196,662			
(うち長期前受金戻入)	9,037			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	62,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,969,427			
2 経常費用	2,906,827			
(1) 医業費用	2,715,226			
職員給与費	1,595,309	71.9	62.1	67.4
材料費	296,983	13.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	119,093	5.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	175,348	7.9	11.4	8.8
減価償却費	147,947	6.7	9.5	10.7
経費	670,929	30.3	22.7	29.2
(うち委託料)	306,012	13.8	12.6	13.9
研究研修費	4,058			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	191,601			
(うち支払利息)	23,418	1.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	62,600			
損益				
経常損益	485,035			
純損益	485,035			
累積欠損金	3,699,931			
経常収支比率	116.7		101.9	100.3
医業収支比率	81.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	106.4		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,313,229
1 固定資産	2,351,919
(1) 有形固定資産	2,316,695
(2) 無形固定資産	302
(3) 投資その他の資産	34,922
2 流動資産	961,310
(1) 現金及び預金	269,561
(2) 未収金及び未収収益	674,257
(3) 貸倒引当金( )	10,149
(4) 貯蔵品	26,252
3 繰延資産	-
負債合計	1,996,892
1 固定負債	790,670
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	411,405
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	250,000
(6) 引当金	59,463
(7) リース債務	69,802
2 流動負債	1,030,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	230,895
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	50,000
(5) 引当金	102,242
(6) リース債務	27,100
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	259,309
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	176,180
(1) 長期前受金	362,144
(2) 長期前受金収益化累計額( )	185,964
資本合計	1,316,337
1 資本金	4,797,046
2 剰余金	-3,480,709
(1) 資本金剰余金	219,222
(2) 利益剰余金	-3,699,931
負債・資本合計	3,313,229
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	298,663	298,663
資本勘定繰入	128,421	128,421
計	427,084	427,084

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	303,400	13.1
平成30年度	187,259	7.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	166.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	新宮市				
病院名	新宮市立医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	21,878 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨感災地		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	68.7	83.3	83.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	4.2	0.3	-
計	304	67.9	82.2	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	17.8	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	27,171	
決算規模(千円)	21,880,381	
標準財政規模(千円)	9,457,133	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	28.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,027,984			
1 経常収益	6,964,970			
(1) 医業収益	5,773,388			
入院収益	3,670,080			
外来収益	1,785,867			
診療収入計	5,455,947			
その他医業収益	317,441			
(うち他会計負担金)	132,082			
(2) 医業外収益	1,191,582			
(うち国・都道府県補助金)	587,158			
(うち他会計補助・負担金)	274,686			
(うち長期前受金戻入)	266,145			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	63,014			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,891,625			
2 経常費用	6,891,413			
(1) 医業費用	6,535,020			
職員給与費	3,392,879	58.8	62.1	63.5
材料費	1,274,217	22.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	585,548	10.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	687,738	11.9	11.4	11.8
減価償却費	458,952	7.9	9.5	10.0
経費	1,360,645	23.6	22.7	21.7
(うち委託料)	797,724	13.8	12.6	12.2
研究研修費	14,002			
資産減耗費	34,325			
(2) 医業外費用	356,393			
(うち支払利息)	86,620	1.5	1.3	1.4
(3) 特別損失	212			
損益				
経常損益	73,557			
純損益	136,359			
累積欠損金	255,075			
経常収支比率	101.1		101.9	101.7
医業収支比率	88.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.0		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	95.2		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,452,694
1 固定資産	7,576,588
(1) 有形固定資産	7,571,768
(2) 無形固定資産	620
(3) 投資その他の資産	4,200
2 流動資産	2,876,106
(1) 現金及び預金	1,230,062
(2) 未収金及び未収収益	1,588,408
(3) 貸倒引当金( )	5,498
(4) 貯蔵品	47,857
3 繰延資産	-
負債合計	7,847,580
1 固定負債	5,555,380
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,796,507
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	758,873
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,390,813
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	682,454
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	193,593
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	487,943
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	901,387
(1) 長期前受金	5,464,018
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,562,631
資本合計	2,605,114
1 資本金	1,967,794
2 剰余金	637,320
(1) 資本金剰余金	814,766
(2) 利益剰余金	-177,446
負債・資本合計	10,452,694
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.3
修正医業収益(千円)	5,641,306

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	771,087	406,768
資本勘定繰入	458,430	468,585
計	1,229,517	875,353

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	高野町		
病院名	高野山病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,970	
決算規模(千円)	4,427,735	
標準財政規模(千円)	2,127,350	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	88.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	688			
1 経常収益	688			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	688			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	688			
2 経常費用	688			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	688			
(うち支払利息)	688	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	17,319			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	64.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	すさみ町				
病院名	国保すさみ病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,056 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	48	29.7	36.5	27.2
療養	24	-	16.0	61.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	72	29.7	29.7	38.8
平均在院日数(一般病床のみ)		37.4	38.7	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	3,685	
決算規模(千円)	4,899,075	
標準財政規模(千円)	2,546,077	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.2
修正医業収益(千円)	393,380

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	655,041			
1 経常収益	655,041			
(1) 医業収益	433,068			
入院収益	109,040			
外来収益	269,237			
診療収入計	378,277			
その他医業収益	54,791			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	221,973			
(うち国・都道府県補助金)	21,239			
(うち他会計補助・負担金)	184,812			
(うち長期前受金戻入)	11,335			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	688,752			
2 経常費用	688,752			
(1) 医業費用	664,994			
職員給与費	393,836	90.9	62.1	78.9
材料費	148,244	34.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	125,835	29.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,663	4.3	11.4	6.0
減価償却費	22,441	5.2	9.5	11.7
経費	99,564	23.0	22.7	31.2
(うち委託料)	33,222	7.7	12.6	14.3
研究研修費	909			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	23,758			
(うち支払利息)	547	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-33,711			
純損益	-33,711			
累積欠損金	623,303			
経常収支比率	95.1		101.9	100.3
医業収支比率	65.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	34.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	51.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	34.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	62.5		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	523,319
1 固定資産	374,004
(1) 有形固定資産	372,374
(2) 無形固定資産	1,630
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	149,315
(1) 現金及び預金	69,791
(2) 未収金及び未収収益	70,395
(3) 貸倒引当金( )	339
(4) 貯蔵品	9,468
3 繰延資産	-
負債合計	676,211
1 固定負債	428,840
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,175
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	378,665
(7) リース債務	-
2 流動負債	74,441
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,905
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,941
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,595
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	172,930
(1) 長期前受金	353,685
(2) 長期前受金収益化累計額( )	180,755
資本合計	-152,892
1 資本金	341,479
2 剰余金	-494,371
(1) 資本金剰余金	118,932
(2) 利益剰余金	-613,303
負債・資本合計	523,319
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	152,892
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	323,365	224,500
資本勘定繰入	8,577	21,863
計	331,942	246,363

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	143.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	那智勝浦町				
病院名	温泉病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,261 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	120	90.6	87.1	82.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	90.6	87.1	82.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	28.7	27.4

設立団体の状況		
人口(人)	14,137	
決算規模(千円)	11,000,142	
標準財政規模(千円)	5,176,192	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	26.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.7
修正医業収益(千円)	1,849,930

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,460,592			
1 経常収益	2,430,670			
(1) 医業収益	1,894,021			
入院収益	1,352,264			
外来収益	444,188			
診療収入計	1,796,452			
その他医業収益	97,569			
(うち他会計負担金)	44,091			
(2) 医業外収益	536,649			
(うち国・都道府県補助金)	111,397			
(うち他会計補助・負担金)	212,824			
(うち長期前受金戻入)	144,378			
(うち資本費繰入収益)	56,235			
(3) 特別利益	29,922			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,350,811			
2 経常費用	2,342,815			
(1) 医業費用	2,208,970			
職員給与費	1,225,320	64.7	62.1	67.4
材料費	236,553	12.5	25.3	17.7
(うち薬品費)	102,564	5.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	104,906	5.5	11.4	8.8
減価償却費	253,308	13.4	9.5	10.7
経費	490,024	25.9	22.7	29.2
(うち委託料)	246,273	13.0	12.6	13.9
研究研修費	2,215			
資産減耗費	1,550			
(2) 医業外費用	133,845			
(うち支払利息)	14,990	0.8	1.3	1.5
(3) 特別損失	7,996			
損益				
経常損益	87,855			
純損益	109,781			
累積欠損金	868,250			
経常収支比率	103.7		101.9	100.3
医業収支比率	85.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	92.8		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,053,295
1 固定資産	4,583,712
(1) 有形固定資産	4,479,567
(2) 無形固定資産	1,682
(3) 投資その他の資産	102,463
2 流動資産	469,583
(1) 現金及び預金	147,165
(2) 未収金及び未収収益	321,742
(3) 貸倒引当金( )	7,191
(4) 貯蔵品	6,457
3 繰延資産	-
負債合計	5,243,684
1 固定負債	3,552,208
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,032,293
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	515,540
(7) リース債務	4,375
2 流動負債	324,492
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160,646
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	85,073
(6) リース債務	1,207
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	77,463
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,366,984
(1) 長期前受金	1,742,025
(2) 長期前受金収益化累計額( )	375,041
資本合計	-190,389
1 資本金	534,585
2 剰余金	-724,974
(1) 資本金剰余金	143,276
(2) 利益剰余金	-868,250
負債・資本合計	5,053,295
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	190,389
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	208,141	256,915
資本勘定繰入	65,492	74,409
計	273,633	331,324

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	串本町				
病院名	くしもと町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,917 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	90	72.0	71.4	72.0
療養	40	54.7	67.1	72.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	66.6	70.1	72.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	17.0	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	14,959	
決算規模(千円)	14,496,130	
標準財政規模(千円)	6,051,295	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	84.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,104,509			
1 経常収益	2,104,509			
(1) 医業収益	1,553,427			
入院収益	976,983			
外来収益	457,126			
診療収入計	1,434,109			
その他医業収益	119,318			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	551,082			
(うち国・都道府県補助金)	96,691			
(うち他会計補助・負担金)	382,890			
(うち長期前受金戻入)	61,074			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,027,168			
2 経常費用	2,027,168			
(1) 医業費用	1,934,755			
職員給与費	1,013,134	65.2	62.1	67.4
材料費	265,104	17.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	89,956	5.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	150,286	9.7	11.4	8.8
減価償却費	155,019	10.0	9.5	10.7
経費	495,815	31.9	22.7	29.2
(うち委託料)	256,150	16.5	12.6	13.9
研究研修費	3,965			
資産減耗費	1,718			
(2) 医業外費用	92,413			
(うち支払利息)	20,343	1.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	77,341			
純損益	77,341			
累積欠損金	57,190			
経常収支比率	103.8		101.9	100.3
医業収支比率	80.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	20.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	27.2		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	20.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	83.0		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,179,010
1 固定資産	2,853,138
(1) 有形固定資産	2,846,443
(2) 無形固定資産	1,795
(3) 投資その他の資産	4,900
2 流動資産	325,872
(1) 現金及び預金	13,053
(2) 未収金及び未収収益	339,357
(3) 貸倒引当金( )	43,762
(4) 貯蔵品	17,224
3 繰延資産	-
負債合計	2,829,493
1 固定負債	1,540,741
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,249,559
(2) その他の企業債	238,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	52,382
(7) リース債務	-
2 流動負債	346,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	165,057
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,261
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	107,080
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	942,415
(1) 長期前受金	1,591,234
(2) 長期前受金収益化累計額( )	648,819
資本合計	349,517
1 資本金	308,181
2 剰余金	41,336
(1) 資本金剰余金	98,326
(2) 利益剰余金	-56,990
負債・資本合計	3,179,010
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.2
修正医業収益(千円)	1,513,739

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	176,643	422,578
資本勘定繰入	50,508	133,637
計	227,151	556,215

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	41,829	2.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.7
健全化法上の資金不足額(千円)	94,208
健全化法上の資金不足比率(%)	6.0
地財法上の資金不足額(千円)	94,208
地財法上の資金不足比率(%)	6.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	国民健康保険野上厚生病院組合				
病院名	国保野上厚生総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,938 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	61.5	69.0	66.6
療養	54	78.6	82.4	80.4
結核	-	-	-	-
精神	100	91.8	91.3	91.6
感染症	-	-	-	-
計	254	77.1	80.6	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	17.7	18.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.8
修正医業収支(千円)	2,001,852

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,938,918			
1 経常収益	2,938,918			
(1) 医業収益	2,101,495			
入院収益	1,504,897			
外来収益	385,547			
診療収入計	1,890,444			
その他医業収益	211,051			
(うち他会計負担金)	99,643			
(2) 医業外収益	837,423			
(うち国・都道府県補助金)	74,694			
(うち他会計補助・負担金)	625,684			
(うち長期前受金戻入)	13,044			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,024,024			
2 経常費用	3,020,264			
(1) 医業費用	2,677,379			
職員給与費	1,665,795	79.3	62.1	66.1
材料費	258,532	12.3	25.3	19.8
(うち薬品費)	115,967	5.5	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	90,105	4.3	11.4	9.3
減価償却費	201,209	9.6	9.5	10.2
経費	547,575	26.1	22.7	28.2
(うち委託料)	213,209	10.1	12.6	13.6
研究研修費	2,360			
資産減耗費	1,908			
(2) 医業外費用	342,885			
(うち支払利息)	56,919	2.7	1.3	1.6
(3) 特別損失	3,760			
損益				
経常損益	-81,346			
純損益	-85,106			
累積欠損金	3,028,001			
経常収支比率	97.3		101.9	99.9
医業収支比率	78.5		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	24.7		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	34.5		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	24.7		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	73.3		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,686,576
1 固定資産	4,176,599
(1) 有形固定資産	4,121,538
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	54,915
2 流動資産	509,977
(1) 現金及び預金	136,464
(2) 未収金及び未収収益	363,018
(3) 貸倒引当金( )	500
(4) 貯蔵品	10,995
3 繰延資産	-
負債合計	4,456,921
1 固定負債	3,190,169
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,799,736
(2) その他の企業債	150,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	100,000
(6) 引当金	140,433
(7) リース債務	-
2 流動負債	921,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	266,433
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	139,240
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	104,467
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	345,572
(1) 長期前受金	622,741
(2) 長期前受金収益化累計額( )	277,169
資本合計	229,655
1 資本金	3,146,152
2 剰余金	-2,916,497
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,916,497
負債・資本合計	4,686,576
不良債務	144,770
実質資金不足額	144,770
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	725,327	725,327
資本勘定繰入	82,305	82,305
計	807,632	807,632

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	144,770	6.9
令和元年度	224,059	10.4
平成30年度	20,718	1.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	144.1
健全化法上の資金不足額(千円)	144,770
健全化法上の資金不足比率(%)	6.8
地財法上の資金不足額(千円)	294,770
地財法上の資金不足比率(%)	14.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	公立那賀病院経営事務組合				
病院名	公立那賀病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,708 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	72.4	83.2	80.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	9.8	-	-
計	304	71.6	82.1	79.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.1	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.2
修正医業収益(千円)	6,084,995

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	8,032,859			
1 経常収益	8,032,859			
(1) 医業収益	6,241,633			
入院収益	3,914,845			
外来収益	1,992,397			
診療収入計	5,907,242			
その他医業収益	334,391			
(うち他会計負担金)	156,638			
(2) 医業外収益	1,791,226			
(うち国・都道府県補助金)	993,724			
(うち他会計補助・負担金)	334,140			
(うち長期前受金戻入)	189,995			
(うち資本費繰入収益)	176,683			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,644,284			
2 経常費用	7,644,284			
(1) 医業費用	7,229,103			
職員給与費	3,454,511	55.3	62.1	63.5
材料費	1,654,829	26.5	25.3	24.9
(うち薬品費)	985,157	15.8	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	664,182	10.6	11.4	11.8
減価償却費	572,355	9.2	9.5	10.0
経費	1,528,862	24.5	22.7	21.7
(うち委託料)	737,135	11.8	12.6	12.2
研究研修費	10,184			
資産減耗費	8,362			
(2) 医業外費用	415,181			
(うち支払利息)	99,469	1.6	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	388,575			
純損益	388,575			
累積欠損金	3,907,617			
経常収支比率	105.1		101.9	101.7
医業収支比率	86.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	6.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	98.7		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,981,193
1 固定資産	8,341,234
(1) 有形固定資産	8,324,914
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	16,320
2 流動資産	2,639,959
(1) 現金及び預金	1,180,387
(2) 未収金及び未収収益	1,362,146
(3) 貸倒引当金( )	8,604
(4) 貯蔵品	105,290
3 繰延資産	-
負債合計	7,463,645
1 固定負債	4,691,264
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,691,264
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,660,525
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	937,411
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	200,483
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	508,180
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,111,856
(1) 長期前受金	2,731,217
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,619,361
資本合計	3,517,548
1 資本金	7,239,169
2 剰余金	-3,721,621
(1) 資本金剰余金	185,996
(2) 利益剰余金	-3,907,617
負債・資本合計	10,981,193
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	890,205	490,778
資本勘定繰入	573,314	554,834
計	1,463,519	1,045,612

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	御坊市外五ヶ町病院経営事務組合				
病院名	ひだか病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,072 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	263	71.0	81.4	84.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	61.7	72.6	66.9
感染症	4	30.8	1.2	-
計	367	68.0	78.2	79.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	17.0	16.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.3
修正医業収益(千円)	5,190,451

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,026,073			
1 経常収益	8,026,073			
(1) 医業収益	5,256,061			
入院収益	3,564,713			
外来収益	1,432,904			
診療収入計	4,997,617			
その他医業収益	258,444			
(うち他会計負担金)	65,610			
(2) 医業外収益	2,770,012			
(うち国・都道府県補助金)	1,820,149			
(うち他会計補助・負担金)	726,495			
(うち長期前受金戻入)	100,082			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,536,690			
2 経常費用	7,511,610			
(1) 医業費用	7,080,892			
職員給与費	4,132,236	78.6	62.1	63.5
材料費	1,199,607	22.8	25.3	24.9
(うち薬品費)	567,662	10.8	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	565,574	10.8	11.4	11.8
減価償却費	542,818	10.3	9.5	10.0
経費	1,195,943	22.8	22.7	21.7
(うち委託料)	372,573	7.1	12.6	12.2
研究研修費	4,246			
資産減耗費	6,042			
(2) 医業外費用	430,718			
(うち支払利息)	70,866	1.3	1.3	1.4
(3) 特別損失	25,080			
損益				
経常損益	514,463			
純損益	489,383			
累積欠損金	5,693,004			
経常収支比率	106.8		101.9	101.7
医業収支比率	74.2		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	96.3		89.3	90.0

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,726,757
1 固定資産	7,403,256
(1) 有形固定資産	7,135,385
(2) 無形固定資産	477
(3) 投資その他の資産	267,394
2 流動資産	2,323,501
(1) 現金及び預金	875,982
(2) 未収金及び未収収益	1,412,229
(3) 貸倒引当金( )	1,840
(4) 貯蔵品	36,830
3 繰延資産	-
負債合計	8,002,063
1 固定負債	3,875,934
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,767,629
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	106,844
2 流動負債	2,300,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	274,448
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	268,424
(6) リース債務	54,199
(7) 一時借入金	800,000
(8) 未払金及び未払費用	874,514
(9) 前受金及び前受収益	14,500
3 繰延収益	1,825,702
(1) 長期前受金	2,813,289
(2) 長期前受金収益化累計額( )	987,587
資本合計	1,724,694
1 資本金	6,533,434
2 剰余金	-4,808,740
(1) 資本金剰余金	884,264
(2) 利益剰余金	-5,693,004
負債・資本合計	9,726,757
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	766,072	792,105
資本勘定繰入	246,996	332,203
計	1,013,068	1,124,308

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	563,746	9.6
平成30年度	372,616	6.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	108.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	公立紀南病院組合				
病院名	紀南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	41,959 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	352	70.0	85.3	86.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	198	49.6	52.2	50.6
感染症	4	61.9	8.1	7.5
計	554	62.7	72.9	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.4	12.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.5
修正医業収益(千円)	10,492,484

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	13,188,658			
1 経常収益	13,188,658			
(1) 医業収益	10,559,076			
入院収益	6,143,237			
外来収益	3,918,085			
診療収入計	10,061,322			
その他医業収益	497,754			
(うち他会計負担金)	66,592			
(2) 医業外収益	2,629,582			
(うち国・都道府県補助金)	1,366,693			
(うち他会計補助・負担金)	788,384			
(うち長期前受金戻入)	289,788			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,784,206			
2 経常費用	12,782,833			
(1) 医業費用	11,988,814			
職員給与費	6,017,044	57.0	62.1	55.8
材料費	3,432,000	32.5	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,111,309	20.0	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,319,223	12.5	11.4	13.0
減価償却費	470,012	4.5	9.5	8.7
経費	1,987,469	18.8	22.7	19.7
(うち委託料)	900,773	8.5	12.6	12.6
研究研修費	42,717			
資産減耗費	39,572			
(2) 医業外費用	794,019			
(うち支払利息)	55,944	0.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	1,373			
損益				
経常損益	405,825			
純損益	404,452			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.2		101.9	102.5
医業収支比率	88.1		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	6.5		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	96.5		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,206,551
1 固定資産	10,285,223
(1) 有形固定資産	10,198,358
(2) 無形固定資産	6,375
(3) 投資その他の資産	80,490
2 流動資産	4,921,328
(1) 現金及び預金	2,585,929
(2) 未収金及び未収収益	2,246,438
(3) 貸倒引当金( )	6,054
(4) 貯蔵品	95,015
3 繰延資産	-
負債合計	9,025,840
1 固定負債	4,924,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,894,032
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	30,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,519,361
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	824,537
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	407,614
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,241,171
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,582,447
(1) 長期前受金	6,528,372
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,945,925
資本合計	6,180,711
1 資本金	2,662,685
2 剰余金	3,518,026
(1) 資本金剰余金	377,170
(2) 利益剰余金	3,140,856
負債・資本合計	15,206,551
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	812,938	854,976
資本勘定繰入	398,058	462,047
計	1,210,996	1,317,023

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。